

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用）教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（三省堂 『新現代の国語』）

教科 国語 の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、効果的に表現しようとする能力の育成をはかる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 近現代のすぐれた文章にふれることにより、言語感覚を磨き、知識と教養を身につける。「言語活動」を通して、実社会に役だつテーマを学習し、知識見分を広げる。 | 論理的な思考力と判断力、表現力の養成をはかり、生徒が人間や環境、社会などにおける多様な課題に対し対峙する態度を養う。 | 生徒が自主的、主体的に学習活動を行い、対話的・協働的な学習を積み重ねることにより、様々な社会的要請に応え得る人間性の育成に努める。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|---|---|-----|---|---|---|---|---|---|------------------|
| | | 話・聞 | 書 | 読 | | | | | |
| A 届く言葉、届かない言葉 鷲田清一 【知識及び技能】 言葉が他者理解・自己表現にどのように影響をするかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉が「届く/届かない」理由を文章内容から論理的に考察し、自分の考えを形成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者への敬意や協力の精神を大切にし、公共の場での言葉の使い方を意識する態度を育てる。 | ・指導事項 【読むこと】 文章を精査し、解釈し、考えを形成し、共有すること ・教材 教科書 副教材 スマートスクール端末 | | | ○ | 【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| B 聞く力 阿川佐和子 【知識及び技能】 二つの文章を読み、それぞれの内容を要約することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 二人の筆者のコミュニケーションに対する考え方の特徴を指摘することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に向き合い、協力しながら、公共の場面に参加する態度を育てようとしている。 | ・指導事項 相手の立場や状況を踏まえて聞き、内容を的確に理解すること ・教材 教科書 副教材 スマートスクール端末 | | | ○ | 【知識・技能】 話し言葉の特徴や聞き取りの視点を理解することができる。 【思考・判断・表現】 相手の立場を考慮しながら、聞き取りの視点を調整することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き取りの工夫を、必要に応じて取り入れようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 1 学期 C ひとまず、信じない 押井守 【知識及び技能】 情報の信頼性・妥当性を検討するための視点を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 受け取った情報をそのまま受け入れず、問い直す批判的思考を働かせる力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 批判的に情報を受け取る姿勢を身につけようとしている。 | ・指導事項 情報や主張を他者へ「話す」「聞く」場面に適切に扱うこと ・教材 教科書 副教材 ポータルフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等 | | | ○ | 【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 【思考・判断・表現】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 話の構成の組み立てや目的に応じた話し方を授業の中で実践しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| D 人が死なない防災 片田敏孝 【知識及び技能】 防災に関する情報を収集し、必要な内容を知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考える、災害情報が避難に結びつかない理由を整理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 防災について関心を持ち、実生活における防災意欲を高めることができる。 | ・指導事項 防災に関する題材を設定し、必要な情報を収集・整理し、内容を検討する力を育てること。 ・教材 教科書 副教材 ポータルフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等 | | | ○ | 【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解できる。 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 防災に関する知識を自ら学ぼうとし、防災意欲を高めようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| E 情報の「メタ」化 外山滋比古 【知識及び技能】 情報と情報との関係・整理の方法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の意図や論の特徴を理解し、 | ・指導事項 文章の構成をとらえ、筆者の主張とその展開を把握すること。 ・教材 教科書 副教材 ポータルフォリオファイル | | | ○ | 【知識・技能】 情報の関係・整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 筆者の意図を踏まえて解釈を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の扱い方に関心を持ち、情報の見方を変 | ○ | ○ | ○ | 5 |

| | | | | | | | | | |
|-----|---|--|---|--|---|---|---|---|---|
| | <p>情報の「メタ化」に関する目なりの解釈を示すことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報の扱い方に関心を持ち、情報を“上位の視点”で見直そうとする態度を育てようとしている。</p> | <p>スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | | えよつとしている。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2学期 | <p>F 水の東西 山崎正和</p> <p>【知識及び技能】 多くの具体例と二項対立を用いた論理的文章の構造把握に努める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理展開を正確に把握し、違う文化の存在価値についての感性についての感覚を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文化についての叙述を正確に読み取ろうとし、自らの見解を持つようとしている。</p> | <p>・指導事項 二項対立による対比関係を用いながら、日本の水の文化による特徴について論じる叙述の方法を把握する。</p> <p>・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | | <p>【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | <p>G 中身当てクイズ 佐藤雅彦</p> <p>【知識及び技能】 比喩・例示・言い換えなどの修辞を理解し、説明や推論に活かす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 根拠を明確にしなが、自分の推論や考えを整理して伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の推論や考えを積極的に形成しようとし、根拠を探す姿勢を持つ。</p> | <p>・指導事項 論理展開を予想しながら聞き、内容・構成・論理を評価し、情報を整理して考えを深めること。</p> <p>・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | | <p>【知識・技能】 例示・比喩・言い換えを適切に用いることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 内容や論理展開を整理し、考えを深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の推論や考えを積極的に形成し、根拠を探す姿勢を持つようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | <p>H 「小さな哲学者」 中村安希</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、状況に応じた適切な表現を伝えるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話し合いの目的に応じて、論点を共有し、他者の考えを踏まえて自分の考えを広げ深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報の信頼性や引用の必要性を自覚し、適切に扱おうとする姿勢を育てようとしている。</p> | <p>・指導事項 聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | | <p>【知識・技能】 状況に応じた適切な表現使うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 他者の考えを正しく聞き、自分の考えを広げ深めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報を鵜呑みにせず、信頼性を吟味し適切に扱おうとする姿勢を育てようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | <p>I 記憶の解凍 渡邊英徳</p> <p>【知識及び技能】 AIの不完全性とはどういうことか、説明することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「記憶の解凍」とはどういうことかまとめ整理することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 意思決定や合意形成のために他者と話し合おうとする態度を養う。</p> | <p>・指導事項 意思決定、合意形成の方法について学ぶこと。</p> <p>・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | | <p>【知識・技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を集め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 意見文を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性を吟味し、理解を深めようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | <p>J 「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」 川上未映子</p> <p>【知識及び技能】 読書体験を自分事として捉え、思考の柔軟性や想像力を育てる態度を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 筆者がどのように「偶然性」「一回性」「読書の価値」を説明しているかを整理し、論理的文章の読み方を獲得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 偶然的読書体験の価値を理解し、自ら進んで本を読み、考えを深め、他者と共有しようとする主体的な学習態度を育成する。</p> | <p>・指導事項 自分が本をどのように読んでいるかを確認すること。</p> <p>・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | | <p>【知識・技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めることができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 本文に書かれている内容を、今後の読書活動に活かそうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|---|----|---|
| 3 学 期 | <p>K ものとはば 鈴木孝夫 【知識及び技能】 言葉が「もの」をどのように把握し、 世界の見方を形づくるかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の論旨を把握し、「ものが先か、 ことばが先か」という根本問題につい て考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料調査や例の収集などを、必要に応 じて自ら行い、課題解決に向けて積極 的に情報を取捨選択し活用する態度を 養う。</p> | <p>・指導事項 自ら学習課題を設定する機会を設 けること。 ・教材 教科書 副教材 ポータルフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| | <p>L 真実はひとつじゃない 森達也 【知識及び技能】 文章の主張や構成を理解し、筆者 が示す「真実」「視点」「メディ ア」の関係について把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張を踏まえ、「真実は一 つではない」という視点の妥当性 や限界について自分の考えを形成 する。 【学びに向かう力、人間性等】 読書を通じて自分の考えを深めよ うとする態度を育てる。</p> | <p>・指導事項 筆者が「真実は一つではない」と 述べる根拠や背景を読み取り、文 章構造を理解すること。 ・教材 教科書 副教材 ポータルフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | | | | 5 |
| | <p>定期考査</p> | | | | ○ | ○ | 1 |
| | | | | | | 70 | |

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（東京書籍 『新編 言語文化』）

教科 国語 の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、効果的に表現しようとする能力の育成をはかる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|-------------|--|--|-----|---|---|---|---|---|---|----------|---|
| | | | 話・聞 | 書 | 読 | | | | | | |
| 1 学 期 | A 夢十夜 【知識及び技能】 ・作品のあらすじと攻勢を理解し、語り手の視点の特徴とその効果を説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・心理描写や情景描写から語り手の内面を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の不思議さや余韻に興味をもち、自ら疑問を立てながら読み進める姿勢をもつ。 | ・指導事項 ・作品の成立背景を知る。 ・一人称語りの効果や、語り手の心理のゆらぎを分析する ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 | | | ○ | 【知識・技能】 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解している。 【思考・判断・表現】 「第一夜」を読んで、「女」の状況と要望とを読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小説の中に展開する独自の独自の世界を捉え、それについて自分の考えを文章にまとめようとしている。 | | | ○ | ○ | 6 |
| | B 古典文法基礎 【知識及び技能】 古文学習を進めるうえでの、基礎知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 文法がどのような仕組みになっているかを考え、原理原則を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 一度で理解できなくても、繰り返し学びなおし知識を広げ深めようとしている。 | ・指導事項 古典を読むのに必要な基礎的な知識を身につける。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 | | | ○ | 【知識・技能】 歴史的仮名遣いや平安時代の五十音図を正しく理解することができる。 【思考・判断・表現】 有名作品の冒頭部分を正しく読むことができる。また、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。 | | | ○ | ○ | 7 |
| | C 児のそら寝 『宇治拾遺物語』 【知識及び技能】 文語文法の基礎事項を把握する。歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、時代を超えた「言語」の違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古文の世界を楽しもうとし、説話の面白さを味わおうとしている。 | ・指導事項 古文の世界に親しむとともに、動詞の活用（正格活用）を学習し、本文を正しく解釈したうえで朗読できるようにする。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等 | | | ○ | 【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができている。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。 | | | ○ | ○ | 8 |
| | D 絵仏師良秀 『宇治拾遺物語』 【知識及び技能】 文語文法の基礎事項を把握する。歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、時代を超えた「言語」の違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古文の世界を楽しもうとし、説話の面白さを味わおうとしている。 | ・指導事項 古文の世界に親しむとともに、動詞の活用（変格活用）について学習し、本文を正しく解釈したうえで朗読できるようにする。 ・教材 教科書 副教材 ポートフォリオファイル スマートスクール端末 ・一人1台端末の活用 等 | | | ○ | 【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができている。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 本教材の意図する学習項目について努力を怠らず、理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。 | | | ○ | ○ | 7 |
| | E 羅生門 芥川龍之介 【知識及び技能】 設定された時代背景を理解することができる。下人と老婆の心情の変化を読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 | ・指導事項 登場人物の心情の整理、分析をするとともに、現代とはあまりにも異なる現実を目の当たりにさせ、感想をもつ。また、芥川龍之介などの文豪についての基礎知識を習得する。 | | | ○ | 【知識・技能】 本教材・本単元の趣旨を理解したうえで、語彙や主張をつかむことができている。 【思考・判断・表現】 本教材における問題提起に対し、積極的に考察し、それを周りの人や教員に対し示そうとすることができる。 | | | ○ | ○ | 6 |

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（高等学校 改訂版 地理総合 世界を学び、地域をつくる（第一学習社）、基本地図帳（二）

教科 地理歴史 の目標

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 態 | | | 配当 時数 |
|-------------|---|--|---|---|---|---|----------|
| | | | | 知 | 思 | 能 | |
| 1 学 期 | 第1部地図でとらえる現代世界 第1章地球上の位置と時差 【知識及び技能】地図や地理情報システム役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に取り組む態度】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 | 1 地球上の位置と時差 ・地球上の位置と私たちの生活 ・時差と私たちの生活 | 【知識・技能】日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | | 2 地図の役割と種類 ・地球儀と地図 ・身の回りの地図 ・統計地図の活用 ・地理情報システムの活用 | 【思考・判断・表現】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 第2章結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に取り組む態度】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 | 1 現代世界の国家と領域 ・現代世界の国家 ・日本の位置や領域 | 【知識・技能】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | 2 グローバル化する世界 ・国家間の結びつき ・貿易によって結びつく世界 ・さまざまな交通網の発達 ・世界を結ぶ通信網の発達 ・観光のグローバル化 | 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 | |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|---|----|
| 2 学 期 | <p>第2部国際理解と国際協力</p> <p>第1章生活文化多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に取り組む態度】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p> | <p>1節世界の地形と人々の生活</p> <p>2節世界の寄稿と人々の生活</p> <p>3節世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>4節歴史的背景と人々の生活</p> <p>5節世界の産業と人々の生活</p> | <p>【知識及び技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | <p>第2章地域の課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。</p> <p>世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に取り組む態度】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p> | <p>1節複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>2節地球環境問題</p> <p>3節資源・エネルギー問題</p> <p>4節人口問題</p> <p>5節食糧問題</p> <p>6節都市・居住問題</p> | | ○ | ○ | ○ | 12 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |

| | | | | | | | | |
|-------------|--|--|---|---|---|---|----|----|
| 3 学 期 | <p>第3部持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章自然環境と防災</p> <p>【知識及び技能】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に取り組む態度】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う</p> | <p>1節日本の自然環境</p> <p>2節地震・津波と防災</p> <p>3節火山災害と防災</p> <p>4節気象災害と防災</p> <p>5節自然災害への備え</p> | <p>【知識及び技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 14 | |
| | <p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【主体的に取り組む態度】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p> | 生活圏の調査と地域の展望 | | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| | 定期考査 | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計 | 60 |

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 実教出版 公共 新訂版 共につくる未来 ）

教科 公民 の目標

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う | よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|--|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | |
| 1 第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解する | ・指導事項 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 5 伝統や文化とのかかわり | 【知識・技能】 人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通じて、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに、異文化などの他者との協働により、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える 【思考力、判断力、表現力等】 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 | ・指導事項 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 4 公共的な空間を形成するための考え方 5 よりよく生きる行為者として活動するために | 【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 1 第3章 公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生 | ・指導事項 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務 6 世界のおもな政治体制 | 【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 民主主義や人権保障の歴史や意義について、現代社会における重要性を認識し、自らの生き方について考察、表現している。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|--|--|---|---|---|---|
| | かされているかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | 7 理 日本国憲法に生きる基本的原 | 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ・指導事項 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために 5 さまざまな契約と法 6 消費者の権利と責任 7 裁判所と人権保障 | 【知識・技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学 期 | 第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権 【知識及び技能】 ・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。 ・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会の課題に、私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決することを学ぶ。 | ・指導事項 [主題4] 政治参加と公正な世論形成 1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉 [主題5] 国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題 | 【知識・技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 第2章 政治的な主体となる私たち 主題6 日本の安全保障と防衛 【知識及び技能】 日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の安全保障と防衛について現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。 | ・指導事項 [主題6] 日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和 | 【知識・技能】 日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え、軍縮の意義や効果について、さまざまな観点から考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 第2章 政治的な主体となる私たち 主題7 国際社会の変化と日本の役割 【知識及び技能】 ・国際社会を実現するために必要な日本の役割を理解する。 | ・指導事項 [主題7] 国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割 | 【知識・技能】 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題に関する資料を、さまざまな情報手段を用いて収集し、課題の解決に向けて、国際社会では何がおこなわれているか、理解している。 | | | | |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|---|
| <p>・今日の国際社会の特徴について理解する。人種・民族問題と地域紛争の背景、現状を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】人種・民族問題と地域紛争の背景、現状を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | | <p>る。 【思考・判断・表現】 ・変化する国際情勢の中で、日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか、広い視点に立って理解し、さまざまな観点から考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <p>第3章 経済的な主体となる私たち 主 主題8 雇用問題と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 【知識及び技能】 ・経済の基本的なしくみを理解し、経済的意思決定が将来の選択に役立つことを理解する ・第二次世界大戦後から現代までの日本経済のあゆみと、現代の経済の課題を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。 ・グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において、将来の働き方をどう考えていけばよいか理解する。 【学びに向かう力、人間性等】社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について解決しようとする。</p> | <p>・指導事項 〔主題8〕雇用問題と労働問題 1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題 〔主題9〕社会の変化と職業観 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから</p> | <p>【知識・技能】 ・仕事と生活との調和という観点から、雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。 【思考・判断・表現】 ・雇用と労働問題について、日本の雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体例をあげて多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>第3章 経済的な主体となる私たち 主 主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融の働き 【知識及び技能】 ・市場における需要と供給の関係について理解する。 ・公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・経済における政府の関わり方について、どのような考えがあるのか理解する。経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのかを理解する。 ・国民所得や景気変動を理解し、私たちが豊かに暮らすための指標について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に考える ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> | <p>・指導事項 〔主題10〕市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉 〔主題11〕金融の動き 1 金融の意義や役割</p> | <p>【知識・技能】 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 ・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・価格の変化が、消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか、さまざまな観点から多面的・多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>第3章 経済的な主体となる私たち 主 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化 【知識及び技能】 ・財政の意義やしくみ、日本の財政の課題を理解する。</p> | <p>・指導事項 〔主題12〕財政の役割と社会保障 1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉 〔主題13〕経済のグローバル化 1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場</p> | <p>【知識・技能】 ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・財政の意義やしくみ、日本の財政の課題を理解している。 ・社会保障の意義やしくみ、日本の社会保障制度の課題を理解している。 ・経済のグロー</p> | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|--|---|---|---|---|----|
| 3 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障の意義やしきみ、日本の社会保障制度の課題を理解する ・ 自由貿易と保護貿易の違いについて考え、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割を理解する。 ・ 外国為替相場の変動がおよぼす影響やその要因について理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。 ・ 経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に考える ・ 経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 | 3 経済のグローバル化と日本の 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格 差 6 地球環境問題 7 資源・エネルギー問題 8 国際社会のこれから | ハル化に関わる現実社会の事情や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしきみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。 ・ 社会保障の意義を理解し、現在の社会保障の課題について考察している。 ・ 貿易の意義、円高・円安が生じる理由、貿易摩擦などについて、考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・ 経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明・論述する。 ・ 現代の諸課題を、「第1編 公共の扉」で学んだことを基に、幸福、正義、公正や公共的な空間における基本的原理を用いて、考察、構想し、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 | ・ 指導事項 1 地球環境問題～排出量取引を考える 2 資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える 3 生命倫理～ゲノム編集を考える 4 情報～インターネットによる投票を考える 5 国際社会の課題～フェアトレードを考える | 【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 ・ 課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 ・ 現代の諸課題を、「第1編 公共の扉」で学んだことを基に、幸福、正義、公正や公共的な空間における基本的原理を用いて、考察、構想し、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| 合計 | | | | | | | 70 |

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用）教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：改訂版 新編 数学 I（数研出版）

教科 数学 の目標

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|---|--|---|---|---|----------|
| <p>数と式</p> <p>【知識及び技能】 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p> | <p>・指導事項 多項式の加法と減法、多項式の乗法、因数分解</p> <p>・教材 教科書、ワーク、プリント</p> <p>・一人1 台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 二次の乗法公式及び因数分解の公式を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>数と式</p> <p>【知識及び技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。</p> <p>・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。</p> <p>・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p> | <p>・指導事項 実数、根号を含む式の計算、不等式の性質、1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式</p> <p>・教材 教科書、ワーク、プリント</p> <p>・一人1 台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。</p> <p>・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。</p> <p>・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 12 |

1
学
期

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| <p>集合と命題</p> <p>【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p> | <p>・指導事項 集合、命題と条件、命題とその逆・対偶・裏、命題と証明 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 9 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|----|
| <p>二次関数 【知識及び技能】 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする。</p> | <p>・指導事項 関数とグラフ、二次関数のグラフ、二次関数の最大・最小、二次関数の決定、二次方程式、二次関数のグラフとx軸の位置関係 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 20 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>二次関数 【知識及び技能】 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする。</p> <p>データの分析 【知識及び技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。</p> | <p>・指導事項 2次不等式、データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数、分散と標準偏差、二つの変量の間の関係、仮説検定の考え方 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 30 |

| | | | | | | |
|---|--|---|---|---|--|---|
| <p>る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。 | | <p>したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 | | | | |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|---|-----|
| 3 学 期 | <p>図形と計量</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする。 | <p>・指導事項</p> <p>三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張、正弦定理、余弦定理、正弦定理と余弦定理の応用、三角形の面積、空間図形への応用</p> <p>・教材</p> <p>教科書、ワーク、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 22 |
| | 定期考査 | | | | ○ | ○ | |
| | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | 105 |

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学

科目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： 改訂版 新編 数学A（数研出版）

教科 数学 の目標

- 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を理解させ、数学的に表現・処理する技能を身に付けさせる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を論理的に考察し、数学的に簡潔に的確に表現する能力を身に付けさせる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 広く数学を活用できることを認識し、問題解決のための考察を深める基本的な姿勢を養う。

科目 数学A の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|---|
| 図形の性質、場合の数と確立についての基本的な概念や原理を体系的に理解するとともに、事象を数学的に表現・処理する能力を身に付けさせる。 | 図形の性質を見出し、論理的に考察する力、不確実な事象を確率の性質に基づき事象の起こりやすさ(にくさ)を数理的に考察する力を身に付けさせる。 | 数学が広く活用されていることを認識し、自らの問題解決の場面で、数学的論拠に基づき考察を深め処理しようとする姿勢を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|--|---|--|---|---|---|----------|
| 1 学 期 | A 集合 【知識及び技能】 集合の概念を理解し、2つの集合の関係も含め、集合を適切に表現する能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 2つ(3つ)の集合の関係を理解したうえで、適切に考察・処理する手法を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 集合の考え方を数学的な諸問題の解決のために応用する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 集合の定義、共通部分、和集合、補集合 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 集合の概念を理解し、2つの集合の関係も含め、集合を適切に表現できる。 【思考・判断・表現】 2つ(3つ)の集合の関係を理解したうえで、適切に考察・処理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合の考え方を数学的な諸問題の解決のために応用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | B 集合の要素の個数 【知識及び技能】 和集合や補集合の要素の個数に関する性質を理解し、数式で処理する能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の要素の個数に関する性質を倍数問題等で適切に考察・活用する手法を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 集合の個数の処理の手法を、数学的な諸問題の解決のために応用する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 和集合の要素の個数、倍数の個数、調査集計問題への応用 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 和集合や補集合の要素の個数に関する性質を理解し、数式で処理できる。 【思考・判断・表現】 集合の要素の個数に関する性質を、倍数問題等で適切に考察・活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合の要素の個数の処理の手法を、数学的な諸問題の解決のために応用できる。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | C 場合の数、順列、組合せ 【知識及び技能】 順列・組合せの概念を理解し、的確に求められる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 条件を伴う様々な問題を適切に考察し、活用する考え方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 順列・組合せの考え方を身近な諸問題に活用する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 樹形図、順列・組合せの定義・計算、種々の順列・組合せの応用 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 順列・組合せの概念を理解し、場合の数を的確に求めることができる。 【思考・判断・表現】 条件を伴う様々な問題を適切に考察し、活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列・組合せの考え方を身近な諸問題に活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | D 組分け、同じものを含む順列 【知識及び技能】 順列・組合せの考え方を利用して組分けや同じものを含む順列の考察に活用する能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な組分けや順列に応用できる考察力や数式処理能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象の場合の数を数学的な諸問題に活用して考察する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 組合せを組分けや同じものを含む順列問題への応用事例 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 順列・組合せの考え方を利用して組分けや同じものを含む順列の考察に活用することができる。 【思考・判断・表現】 発展的な組分けや順列の問題を多面的に考察でき、数量的に処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な場合の数の問題を日常生活のいろいろな事象に活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| E 確率の基本的性質 【知識及び技能】 確率の概念を理解し、場合の数の既習事項を用いて、適切に確率を求められる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 和事象や余事象の確率の性質を理解し、事象を的確に考察し数式で処理できる能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の考え方を数学的な事象に応用する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 確率の定義、基本的性質、和・積事象の確率、余事象利用の確率 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 確率の概念を理解し、場合の数の既習事項を用いて、適切に確率を求められることができる。 【思考・判断・表現】 和事象や余事象の確率の性質を理解し、事象を的確に考察し数式で処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率の考え方を身の回りの数学的な事象に応用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 6 | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|---|---|---------------|
| | | | | | | | |
| 2 学 期 | F 独立試行・条件付き確率・期待値 【知識及び技能】 独立試行・条件付き確率・期待値の概念を理解し、基本的な確率を求める能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 独立試行・条件付き確率・期待値の基本概念をもとに加法定理や乗法定理等を用いて、適切に考察し応用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の考えを身の回りの数学的な事象に活用する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 独立・反復試行の確率、条件付き確率 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 独立試行・条件付き確率・期待値の概念を理解し、基本的な確率を求めことができる。 【思考・判断・表現】 独立試行・条件付き確率・期待値の基本概念をもとに加法定理や乗法定理等を用いて、適切に考察し応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率の考え方を身の回りの数学的な事象に活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | G 平面図形・三角形 【知識及び技能】 三角形の性質や定理の基本概念を理解し、適切に数式処理できる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 基本概念をもとに様々な図形問題を的確に考察し、応用する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の種々の性質を身の回りの数学的な事象に活用する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 三角形の角の2等分線の性質・外心・内心・重心、チェバ・メネラウスの定理 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 三角形の性質や定理の基本概念を理解し、適切に数式処理することができる。 【思考・判断・表現】 基本概念をもとに様々な図形問題を的確に考察し応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形の種々の性質を身の回りの数学的な事象に活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | H 平面図形・四角形と円 【知識及び技能】 円と四角形および円と接線に関する性質を理解し、適切に数式処理できる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 基本性質をもとに様々な図形問題を的確に考察し、応用する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 円に関する種々の性質を身の回りの数学的な事象に活用する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 円に内接する四角形の性質、円の接線の性質、方べきの定理 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 円と四角形および円と接線に関する性質を理解し、適切に数式処理することができる。 【思考・判断・表現】 円・四角形・接線の基本性質をもとに様々な図形問題を的確に考察し応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 円に関する種々の性質を身の回りの数学的な事象に活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 3 学 期 | I 空間図形 【知識及び技能】 空間図形の直線と平面の関係や多面体について、基本概念を理解し、図形的に課題解決する能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な空間図形について、的確に考察し、奥行きや断面等をイメージして図形的に処理する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの立体図形に興味を持ち、考察する姿勢を身に付ける。 | ・指導事項 直線と平面、空間図形と多面体 ・教材 教科書、ワーク、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 空間図形の直線と平面の関係や多面体について、基本概念を理解し、図形的に課題解決することができる。 【思考・判断・表現】 基本的な空間図形について、的確に考察し、奥行きや断面等をイメージして図形的に処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの立体図形に興味を持ち、考察することができる。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 合計 70 |

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（改訂 新化学基礎（第一））

教科 理科 の目標

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができています。 | 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけている。 | 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|---|---|---|---|---|----------|
| <p>第1章 物質の構成</p> <p>第一節 物質とその構成要素</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合物を分離する操作方法をあげることができる。 実際にそれらの方法を適切に用いて混合物を分離することができる。 炭素、酸素、リン、硫黄の同素体をあげることができる。 代表的な成分元素について検出法を理解し、実験を実施することができる。 物質の状態と熱運動の関係を理解している。 物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 物理変化と化学変化の違いを理解している。 物質の状態と熱運動の関係を理解している。 物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 物理変化と化学変化の違いを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。 物質を分離する操作がどのようなものであるかを説明することができる。 いろいろな物質を単体と化合物に分類することができる。 単体と化合物の違いについて説明することができる。 同素体とは何かを説明できる。 物質を加熱したり冷却したりしたときの温度変化を、グラフに表すことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。 身のまわりの混合物が、どのような純物質から構成されるかに興味をもつ。 元素の概念に興味をもつ。 日常生活の中の物質の状態変化について興味をもつ。 | <p>1. 混合物と純物質</p> <p>2. 物質とその成分</p> <p>3. 物質の三態と熱運動</p> <p>1. 原子とその構造</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法をあげることができる。 実際にそれらの方法を適切に用いて混合物を分離することができる。 炭素、酸素、リン、硫黄の同素体をあげることができる。 代表的な成分元素について検出法を理解し、実験を実施することができる。 物質の状態と熱運動の関係を理解している。 物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 物理変化と化学変化の違いを理解している。 物質の状態と熱運動の関係を理解している。 物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 物理変化と化学変化の違いを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。 物質を分離する操作がどのようなものであるかを説明することができる。 いろいろな物質を単体と化合物に分類することができる。 単体と化合物の違いについて説明することができる。 同素体とは何かを説明できる。 物質を加熱したり冷却したりしたときの温度変化を、グラフに表すことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。 身のまわりの混合物が、どのような純物質から構成されるかに興味をもつ。 元素の概念に興味をもつ。 日常生活の中の物質の状態変化について興味をもつ。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| <p>1 学期</p> <p>第2節 化学結合</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。 イオンの化学式が正しく書け、 | <p>1. 原子とその構造</p> <p>2. イオン</p> <p>3. 元素の周期表</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。 イオンの化学式が正しく書け、化学式でかかれたイオンの名称がわかる。 | | | | |

| | | | | | | |
|---|--|--|---|---|---|---|
| <p>化学式でかかれたイオンの名称がわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単原子イオンの電子配置を示すことができる。 ・イオン化エネルギーの概念を説明できる。 ・元素の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布および同族元素について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。 ・原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。 ・イオンのなりやすさについてイオン化エネルギーや電子親和力の値の大小と関連させて考えることができる。 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。 ・原子とイオンの違いについて疑問をもつ。 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・単原子イオンの電子配置を示すことができる。 ・イオン化エネルギーの概念を説明できる。 ・元素の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布および同族元素について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。 ・原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。 ・イオンのなりやすさについてイオン化エネルギーや電子親和力の値の大小と関連させて考えることができる。 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。 ・原子とイオンの違いについて疑問をもつ。 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>第2節 化学結合</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式を書く方法を理解している。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. イオン結合とイオンからなる物質 2. 分子と共有結合 3. 共有結合の結晶 4. 金属結合と金属 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式を書く方法を理解している。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。 ・共有結合とはどのような結合であるか説明できる。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>第2章 物質の変化</p> <p>第1節 物質と化学反応式</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考えることができる。 ・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質量で表せる。 ・同温・同圧の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解する。 ・濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。 ・目的の濃度の水溶液を調製することができる。 ・化学反応における、物質量、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 ・原子説の発見、分子説の発見にいたる物質探究の歴史を学び、化学の基礎法則を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる質量の原子が混在する場合、その平均の質量を表す方法を見いだすことができる。 ・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子の | <ol style="list-style-type: none"> 1. 原子量・分子量・式量 2. 物質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質量 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考えることができる。 ・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質量で表せる。 ・同温・同圧の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解する。 ・濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。 ・目的の濃度の水溶液を調製することができる。 ・化学反応における、物質量、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 ・原子説の発見、分子説の発見にいたる物質探究の歴史を学び、化学の基礎法則を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる質量の原子が混在する場合、その平均の質量を表す方法を見いだすことができる。 ・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子の | | | | |

| | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|----|
| <p>数・質量と物質質量に関する計算ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モル体積を用いて、気体の体積と物質質量に関する計算ができる。 ・2種類の濃度の求め方を理解し、その換算ができる。 ・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。 ・原子1個がいかに小さなものであるかを実感する。 ・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。 ・物質量の概念について興味をもち、粒子の数・質量・気体の体積との関係について説明できる。 ・溶液の濃さの表し方について興味をもつ。 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることがわかる。 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。 | | <p>る。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。 ・原子1個がいかに小さなものであるかを実感する。 ・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。 ・物質量の概念について興味をもち、粒子の数・質量・気体の体積との関係について説明できる。 ・溶液の濃さの表し方について興味をもつ。 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることがわかる。 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。 | | | | |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| <p>第2節 酸と塩基の反応</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の価数、電離度などの考え方を理解し、説明できる。 ・H⁺の授受が実際に行われている反応を確かめることができる。 ・水溶液中のH⁺の濃度をpHで表す方法を理解している。 ・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。 ・中和反応を化学反応式で表すことができる。 ・酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類について理解している。 ・未知の酸や塩基の濃度を、既知の塩基や酸を用いた中和滴定により決定することができる。 ・中和滴定で使用するホールピペット、ビュレット、メスフラスコなどの器具を正しく扱うことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の性質をH⁺とOH⁻で考える方法と、H⁺の授受で考える方法から、酸と塩基を見きわめられる。 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度と水酸化物イオン濃度の関係 (p.118 図7) を用いて、水酸化物イオン濃度からpHを求めることができる。 ・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 ・中和の量的関係を数式で表すことができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸とは何か、塩基とは何かに関心をもつ。 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。 ・中和反応がH⁺とOH⁻の反応であることに気づく。 ・身近な酸・塩基の水溶液も、中和滴定によって濃度が求められることに気づく。 | <p>1. 酸・塩基</p> <p>2. 水の電離と水溶液のpH</p> <p>3. 中和反応と塩</p> <p>4. 中和滴定</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の価数、電離度などの考え方を理解し、説明できる。 ・H⁺の授受が実際に行われている反応を確かめることができる。 ・水溶液中のH⁺の濃度をpHで表す方法を理解している。 ・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。 ・中和反応を化学反応式で表すことができる。 ・酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類について理解している。 ・未知の酸や塩基の濃度を、既知の塩基や酸を用いた中和滴定により決定することができる。 ・中和滴定で使用するホールピペット、ビュレット、メスフラスコなどの器具を正しく扱うことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の性質をH⁺とOH⁻で考える方法と、H⁺の授受で考える方法から、酸と塩基を見きわめられる。 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度と水酸化物イオン濃度の関係 (p.118 図7) を用いて、水酸化物イオン濃度からpHを求めることができる。 ・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 ・中和の量的関係を数式で表すことができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸とは何か、塩基とは何かに関心をもつ。 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。 ・中和反応がH⁺とOH⁻の反応であることに気づく。 ・身近な酸・塩基の水溶液も、中和滴定によって濃度が求められることに気づく。 | | | | 13 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | ○ | 1 |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|--|---|---|---|----|
| 3 学 期 | <p>第3節 酸化還元反応</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。 酸化還元反応の量的関係を計算により求めることができる。 酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようになる。 通常、酸と反応する金属と、王水や酸化力をもつ酸とのみ反応する金属との違いを理解している。 金属のイオン化傾向を利用して、金属を加工できる。 簡単な電池をつくることができる。 金属の製錬の方法について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応に必ず電子の移動が伴うことに気づく。 酸化数を求めることによって酸化還元反応を区別することができるようになる。 酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくられるようになる。 酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できる。 金属のイオン化は電子を放出する酸化還元反応であることに気づく。 金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。 電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。 電池の基本的なしくみについて、イオン化傾向や電子の授受に着目して説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元は同時に起こることに気づく。 酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させることができる。 金属樹ができることに興味をもつ。 身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。 | <p>1. 酸化と還元</p> <p>2. 酸化剤と還元剤</p> <p>3. 金属の酸化還元反応</p> <p>4. 酸化還元反応の利用</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。 酸化還元反応の量的関係を計算により求めることができる。 酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようになる。 通常、酸と反応する金属と、王水や酸化力をもつ酸とのみ反応する金属との違いを理解している。 金属のイオン化傾向を利用して、金属を加工できる。 簡単な電池をつくることができる。 金属の製錬の方法について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応に必ず電子の移動が伴うことに気づく。 酸化数を求めることによって酸化還元反応を区別することができるようになる。 酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくられるようになる。 酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できる。 金属のイオン化は電子を放出する酸化還元反応であることに気づく。 金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。 電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。 電池の基本的なしくみについて、イオン化傾向や電子の授受に着目して説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元は同時に起こることに気づく。 酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させることができる。 金属樹ができることに興味をもつ。 身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。 | | | | 13 |
| 定期考査 | | | | ○ | ○ | ○ | 1 |

| |
|----|
| 合計 |
| 70 |

千歳丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（大修館書店「現代高等保健体育」）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

【学びに向かう力、人間性等】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目 体育 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 | 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 | 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|---|---|---|---|---|----|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | A 体づくり運動 【知識及び技能】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。 | ・指導事項 体カトレーニング サーキットトレーニング 持久カトレーニング 等 ・学習カード等の活用による活動のフィードバック | 【知識・技能】緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 【思考・判断・表現】ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定すること。体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けること 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとすること。仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとすること。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | E 陸上競技 【知識及び技能】走運動（短距離走）としての特性を理解する。自己の体力を知り、走力の向上につながる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】課題解決の方法を理解し、運動を継続するための取り組みを工夫できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】健康・安全に留意して、自己の記録を伸ばせるように努力できる。 | ・指導事項 短距離走 ・学習カード等の活用による活動のフィードバック | 【知識・技能】走・跳躍運動の技能を理解し、身につけているか。記録を測定し評価する。 【思考・判断・表現】個人の能力に応じた運動課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断しているか。 【学びに向かう力、人間性等】公正・協力、自己の責任を果たし参画できているか。健康安全を確保して運動しているか。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | D 球技 【知識及び技能】競技の特性を理解し、課題解決の方法を学、自己や仲間の課題に応じて取り組ませる。 【思考力、判断力、表現力等】作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】ルールやマナーを大切にすることや、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 | ・指導事項 バレーボール、アルティメット ・学習カード等の活用による活動のフィードバック | 【知識・技能】各種目の技能を理解し、身につけているか。個人技能・チームプレーの中での技能を評価する。チームやゲーム運営への貢献度などを総合的に評価する。 【思考・判断・表現】個人の能力に応じた運動課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断しているか。 【学びに向かう力、人間性等】公正・協力、自己の責任を果たし参画できているか。健康安全を確保して運動しているか。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| D 球技 【知識及び技能】競技の特性を理解し、課題解決の方法を学、自己や仲間の課題に応じて取り組ませる。 【思考力、判断力、表現力等】作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】ルールやマナーを大切にすることや、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 | ・指導事項 バドミントン、サッカー ・学習カード等の活用による活動のフィードバック | 【知識・技能】各種目の技能を理解し、身につけているか。個人技能・チームプレーの中での技能を評価する。チームやゲーム運営への貢献度などを総合的に評価する。 【思考・判断・表現】個人の能力に応じた運動課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断しているか。 【学びに向かう力、人間性等】公正・協力、自己の責任を果たし参画できているか。健康安全を確保して運動しているか。 | ○ | ○ | ○ | 17 | |

使用教科書：（大修館書店「現代高等保健体育」）

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進する。また、生徒間でのコミュニケーションを図り目標に向けて工夫する。

【知識及び技能】保健に関する様々な分野において必要な知識を正確に習得する。

【思考力、判断力、表現力等】授業で得た知識や技能を実生活に活かせるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】自己の心身の健康や環境衛生等に興味・関心を持って主体的に取り組むようにする。

科目 保健 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|---|---|---|
| 個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。 | 個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 | 健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 思 態 | | | 配当 時数 |
|---------|--|--|--|-------|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学期 | 0.オリエンテーション ○現代社会と健康 1.健康の考え方と成り立ち 2.私たちの健康のすがた 3.生活習慣病の予防と回復 4.がんの原因と予防 5.がんの治療と回復 6.運動と健康 7.食事と健康 8.休養・睡眠と健康 9.喫煙と健康 【知識及び技能】 現代社会と健康について、正しい理解を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康に関する自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて主体的に活動できる。 | ・指導事項 国民の健康課題を発見し、その課題に向けての解決策を思考判断することができるようにする。 生活習慣病などのリスク、予防、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。 生活習慣病などの要因になる喫煙と飲酒について理解できるようにする。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査、授業中の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、提出物 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学期 | ○現代社会と健康 10.飲酒と健康 11.薬物乱用と健康 12.精神疾患の特徴 13.精神疾患の予防 14.精神疾患からの回復 15.現代の感染症 16.感染症の予防 17.性感染症・エイズとその予防 ○安全な社会生活 4.応急手当の意義とその基本 5.日常的な応急手当 6.心肺蘇生法 【知識及び技能】 安全な社会生活について、正しい理解を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関する原則や概念に着目して危険の予測や回避方法を思考し判断するとともに表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活に関する自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて主体的に活動できる。 | ・指導事項 生活習慣病などの要因になる喫煙と飲酒について理解する。 また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを学習する。 社会の急激な変化によって国民の疾病構造等は変化し、心の健康が大きな課題となってきたことを理解できるようにする。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを学習する。 応急手当の手順や方法を知識として習得するだけでなく、AEDの設置場所の把握や、複数人数で対処することの有効性など、実践的な学習を通して理解したことができるようになる。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査、授業中の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、提出物 | ○ | ○ | | 16 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学期 | ○現代社会と健康 18.健康に関する意思決定・行動選択 19.健康に関する環境づくり ○安全な社会生活 1.事故の現状と発生要因 2.安全な社会の形成 3.交通における安全 【知識及び技能】 健康や安全について、正しい理解を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全に関する原則や概念に着目して危険の予測や回避方法を思考し判断するとともに表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康や安全に関する自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて主体的に活動できる。 | ・指導事項 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることがを学習する。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査、授業中の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、提出物 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | 1 | 合計 35 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--|--|--|--|---|--|---|---|---|----|----|
| 2 学 期 | <p>【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組む。</p> | <p>① 歓喜の歌</p> <p>② メリーさんの羊</p> | | | | | <p>音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | <p>F ミュージカル鑑賞</p> <p>【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付ける。</p> | <p>ミュージカル映画 「ハイスクールミュージカル1」</p> | | | | | <p>【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付けている。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 |
| 3 学 期 | <p>G 合唱</p> <p>【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組む。</p> | <p>3部合唱 心の瞳</p> | | | | <p>【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組んでいる。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | 7 | |
| | <p>H 和楽器</p> <p>【知識及び技能】 日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。箏の取り扱い、調弦方法を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感じながら美しさを味わう。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組む。</p> | <p>箏</p> <p>① たこたこあがれ</p> <p>② お寺のおしょうさん</p> <p>③ さくらさくら</p> | | | | | <p>【知識及び技能】 日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。箏の取り扱い、調弦方法を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感じながら美しさを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | <p>I 創作</p> <p>【知識及び技能】 日本音階を理解し、陰音階を使用して即興的な旋律を創作する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的により良い創作活動となるよう取り組む。</p> | <p>箏を用いた音素材での創作</p> | | | | | <p>【知識及び技能】 日本音階を理解し、陰音階を使用して即興的な旋律を創作できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的により良い創作活動となるよう取り組むことができる。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | | | | | | | | | | | 合計 | 70 |

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（美術 1（光村））

教科 芸術 の目標

- 【知識及び技能】美術の文化的・歴史背景を正しく理解し、基礎的な知識、技能を定着させる。
- 【思考力、判断力、表現力等】作品のテーマを自身で設定し、学んだ知識、技能を活用し様々な表現ができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】他者の作品と自身の作品の相互鑑賞を通し、コミュニケーションを図ることができる。

科目 美術 I の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|---|
| 基礎的なデッサンや透視図法、色彩の基礎知識など、美術Ⅱ、Ⅲに繋がるような知識・技能を身に付ける。また、得た知識・技能を生徒自身がアレンジし、自分の表現として活用できる。 | 感覚的に作品制作に取り組むだけでなく、ロジカルに制作を進めることができる。自身の表現したいイメージを他者に伝えるための構成や色彩を自ら考えることができる。 | 他者の作品と自身の作品の相互鑑賞を通し、コミュニケーションを図ることができる。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|--|---|---|----|--|---|---|---|------------------|
| | | 絵 ・ 彫 | デ | 映 | | | | | | |
| 1 学 期 | A 鉛筆デッサン 【知識及び技能】 デッサンを行う意義を理解する。デッサンを行う際に必要な鉛筆の削り方を理解し、実践する。透視図法を正しく理解し、再現することができる。鉛筆を使い分けることにより濃淡をコントロールし、陰影を表現することができる。基本形態である立方体、円柱を正確に描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラデーションや濃淡を表現する際、使用する画材の特性を考え、実行し、検証、修正を繰り返しながら作品制作を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本形態のバースを修得するための意義を理解し、今後の作品制作に活用する意識を持ち、制作に取り組むことができる。 | ・鉛筆の削り方 ・濃淡表現の練習 ・静物デッサン | ○ | | ○ | 【知識及び技能】 ・明、暗、半調の明度差を理解し、塗り分けることができる。 ・美しいグラデーションを作ることができる。 ・透視図法を正しく理解し、描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・3種類の鉛筆を必要に応じて使い分けることができる。 ・ねりごむを効果的に使い、色調を整えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・振り返りシートを記入し、よくできた箇所、反省点を認識し振り返ることができる。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | B 色彩の理解と実践 【知識及び技能】 色の三大要素を理解する。効果的な配色を、理論的に構成できる。アクリル絵の具の特性を理解して、美しく着彩することができる。【思考力、判断力、表現力等】 明度、彩度、色相の持つ特性を理解し、自分のイメージした色を混色により作ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩の基礎知識を定着させることで今後の作品制作に活用する意識を持ち、制作に取り組むことができる。 | ・色彩の基礎知識(明度・彩度・色相)・アクリル絵の具の練習(ムラなくベタ塗りする。)・明度のグラデーション制作・色相のグラデーション制作 | | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・美しいグラデーションを作ることができる。 ・アクリル絵の具の特性を理解し、ムラのない美しい着彩ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・色彩の特性を理解し、イメージ通りの混色をができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・振り返りシートを記入し、よくできた箇所、反省点を認識し振り返ることができる。 ・他者の作品を鑑賞し、意見や感想を述べるができる。 | ○ | ○ | ○ | 14 |

| | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 2 学 期 | <p>C 平面構成「対のイメージ構成」</p> <p>【知識及び技能】 効果的な画面構成を理論的に考え、粗密を意識したレイアウトを作ることができる。色彩の特性を活用し、設定したイメージを表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 線と面しか使用できない抽象表現により、設定したイメージを最大限伝えるためのレイアウトを考案することができる。レイアウトを考案する際、構成だけでなく明度や色相の観点から考案することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 前単元で学んだ色彩の基礎知識を活用し、効果的な構成を制作することができる。</p> | ・対になるイメージの平面構成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | <p>D 色面構成「人物の顔の構成」</p> <p>【知識及び技能】 グリッド線を活用し人物を正確に描くことができる。陰影を正しくとらえ描くことができる。陰影の濃淡を観察し、正確に描くことで、立体感や質感等を表現できる。色彩の特性を生かし、効果的な配色計画を立て、立体感や質感を表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人物の顔を表現する際の陰影を明度だけでなく複数の色相を活用し表現する工夫ができる。【学びに向かう力、人間性等】 前単元で学んだ色彩の基礎知識及びデッサンの技術を活用し、効果的な構成を制作することができる。</p> | ・人物の顔の色彩構成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | <p>E デジタルでの作品制作</p> <p>【知識及び技能】 筆触分割の効果、美術史の位置づけなどを理解する。印象派、ポスト印象派の作品の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 筆触分割の効果を正しく理解し、PCでのドット絵制作に生かす。デジタル作品での効果的な視覚表現について考え、実践する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 色彩の知識を生かし、アナログでの表現とデジタルでの表現の違いを考察する。やり直しが簡単なデジタル作品の制作過程で、実験的な制作を積極的に行う。</p> | ・スマートスクール端末を活用した作品の制作。 ・インターネットを活用した相互作品鑑賞。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 18 |

合計
70

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用）教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：単位 2

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（『書道 I』 東京書籍 （2 | 東書 | 書 I 7 0 1））

教科 芸術 の目標

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質を理解すると共に、意図に基づいて表現するための知識や技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 小中学校国語科書写を基礎として書写能力の向上を図り、鑑賞能力や伝統文化への理解を深める。更に書表現の方法や形式、多様性について理解し、基礎的な技能を身に付けるようにする。 | 書に親しみ、幅広い学習活動を通して、自ら思考・判断することで、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書美の味わいを感じることができるようにする。 | 書に親しみ、幅広い学習活動を通して、主体的・継続的に学びに向かう姿勢を養い、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|---|--|--------|---|---|---|------|---|---|---|------------------|
| | | 漢 仮 | 漢 | 仮 | | | | | | |
| 単元…概説と導入 【知識及び技能】 用具用材の使用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な執筆法や用具を選択している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校書写の復習と確認。 ・用具・用材の使用法。 ・漢字の成立と変遷。 ・古典の学習法と拓本。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・用具用材の名称と使い方を理解している。 ・筆を正しい執筆法で持っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大ききで書くことが出来る。 ・文字を整えて書けるように工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・教科書やノートにメモをとるようにしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| 単元…漢字の書・楷書の導入 【知識及び技能】 臨書の意義を理解し、実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 落款を正しく理解し書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 臨書をもとに氏名の筆書きにも挑戦してみる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・古典の中にみられる基本点画を練習。 ・形臨、背臨、意臨。 ・範書を参考に氏名を書く。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大ききで書くことが出来る。 ・形臨、背臨、意臨を区別している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・教科書やノートにメモをとるようにしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| 単元…楷書・『九成宮醜泉銘』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。 ・『九成宮醜泉銘』と背勢。 ・欧陽詢と『補江総白猿伝』。 | ○ | | ○ | 【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・背勢を理解し、適切に表現している。 ・分間布白を理解し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| 単元…楷書・『孔子廟堂碑』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（16分割法）。 ・『孔子廟堂碑』と向勢。 ・虞世南と「天下の孤本」（拓本）。 | ○ | | ○ | 【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（収筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・向勢を理解し、適切に表現している。 ・文字の左右の大ききの違いや粗密を理解し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| 単元…楷書・『雁塔聖教序』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。 ・『雁塔聖教序』と俯仰法。 ・褚遂良と玄奘三蔵法師。 | ○ | | ○ | 【知識及び技能】 ・俯仰法の起筆を書き分けられている。 ・抑揚のある軽快な筆使いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・藏鋒と露鋒が区別できる。・余白の美を表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実技のための準備をして授業に臨んでいる。・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| 単元…楷書・『自書告身』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、そ | <ul style="list-style-type: none"> ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。 | | | | 【知識及び技能】 ・蚕頭燕美の「はね」を正しく書ける。 ・蚕頭燕尾の「右払い」を正しく書ける。 | | | | | |

1 学期

| | | | | | | | | | |
|---------|---|--|---|---|---|---|---|---|---|
| | <p>の背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 『自書告身』の顔法と明朝体。 顔真卿と安史の乱。 明の大船団派遣と世界四大発明。 マルコポーロのみた「万安橋記」 | ○ | ○ | <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・横画を細く縦画が太い力強い表現をしている。 ・抑揚の差が激しい文字をバランス良く半紙に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>単元…楷書・『牛欄造像記』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 基本点画の確認と復習。 半紙の折り方など（2，4，6字書き用）。 『牛欄造像記』と方勢。 方勢と円勢。 側筆と直筆。 『鄭義下碑』と円勢。 | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・方筆を理解し、直線的で右上がりに書ける。 ・方筆を理解し、多彩な点画を書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・方勢と円勢の違いを理解し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。）</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>単元…楷書・『偶寺心経』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 基本点画の確認と復習。 半紙の折り方など（行立て用）。 細字の執筆法。 細字を書く際の墨の工夫。 常用漢字、旧字体、書写体、異体字など。 | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・小筆の執筆法を理解し、正確に基本点画（起筆・収筆など）を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・均等に文字を行に配置したり、文字の大きさを揃えるための工夫や準備をし、正確な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・小筆の正しい使い方、洗い方、保存法を実践している。 ・細字を書く上での適切な紙の準備をしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>単元…漢字の書、行書への導入 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙2文字書きによる古典臨書。 範書を参考に行書の氏名練習。 | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・行書の特徴を理解している ・点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆順が変わることを理解している。 ・点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>単元…行書・蘭亭序 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くことで全臨する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 『蘭亭序』の全臨。 半紙6字書きでの全臨。 補助教材の使用（拡大手本蘭亭序） | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・行書で半紙に6文字書きができる。 ・点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆順が変わることを理解している。 ・点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 2 学期 | <p>単元…行書・争坐位文稿 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙2文字書きでの形臨。 『蘭亭序』と『争坐位文稿』の比較。 顔真卿の生涯と明朝体。 | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・筆圧の変化で線に抑揚を付けることができる。 ・空間をゆったりと空けて円を描くように運筆できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・向勢を理解して表現をできる。 ・藏鋒を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『蘭亭序』と比較して表現しようとしている。 ・旧字体を理解して読もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>単元…行書・風信帖 【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙4字書きでの形臨。 三筆と三蹟について。 | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・線の太細の変化を表限できる。 ・文字と文字を連続させて書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・字形と筆順により、点画が省略されることを理解している。 ・文字の重心が低く安定して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |

| | | | | | |
|-------------|--|--|---|---|---|
| 3 学 期 | <p>単元…仮名の書・古典かなへの導入。</p> <p>【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 墨の濃度、紙の種類などを工夫し、様々な仮名の表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の基本線練習。 ・料紙の紹介、作成。 ・磨墨体験。 ・用具清掃。 | ○ | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名用の用具の使い方を理解している。 ・仮名の基本点画を正しく書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。 | 4 |
| | <p>単元…仮名の書・平仮名</p> <p>【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平仮名の結体を考え、判別し適切な表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・紙の折り方(48マス) ・小筆による細字練習。 | ○ | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の基本点画を正しく書くことができる。 ・平仮名の外形特徴を理解して書いている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・元となった漢字からより適切な結びを使い分けている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。 | 4 |
| | <p>単元…仮名の書・変体仮名</p> <p>【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 変体仮名の成り立ちを理解し、判別し、判別し適切な表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 変体仮名を学ぶことで古典文学などを判読しやすくなり、幅広い表現を理解しようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・紙の折り方(48マス) ・小筆による細字練習。 ・教科書の用例より選択して各自得意なものを書く。 | ○ | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の基本点画を正しく書くことができる。 ・変体仮名の外形特徴を理解して書いている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙に対して適切なサイズで書くことができる。 ・基本的な変体仮名を判読することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 ・仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。 | 4 |
| | <p>単元…仮名の書・連綿</p> <p>【知識及び技能】 4種類の連綿を理解し、実際に連綿を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前後の文字によって4種類の連綿を使い分けて表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文節や単語を意識しながら効果的に連綿を表現しようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・連綿の形式を4種類に分類し、提示された課題を連綿でかく。 ・2文字の連綿を見て、4種類のうちの連綿に属するかを判断する。 ・6文字以上(例…やまのいろり)の文字を自身で連綿してみる。 | ○ | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4種類の連綿を理解している。 ・2文字ずつ連綿で書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前後の文字によって4種類の連綿を使い分けて表限できる。 ・何文字まで連綿するか、考えて工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単体仮名の書き方とは異なる表現をしようとしている。 ・平仮名と変体仮名を組み合わせ連綿している。 | 2 |
| | <p>単元…仮名の書・古典かなの臨書。</p> <p>【知識及び技能】 基本的な仮名の線を用いて古典仮名を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 連綿を用いて書かれた古典を正確に理解し、表現を工夫出来る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典かなの美を理解・鑑賞し、表現に活かそうとしている。</p> | <p>これまでに習得してきた仮名の線質、仮名の外形、変体仮名、連綿をもとにして古典を臨書する。「蓬莱切」「高野切」「三色紙」など。</p> | ○ | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流暢な連綿線で臨書することができる。 ・墨継ぎ箇所まで理解して臨書している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 ・書かれている内容まで理解して臨書している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字サイズまで正確に臨書している。 ・料紙など文字以外の美についても鑑賞しようとしている。 | 4 |
| | <p>単元…漢字仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】 これまでに学んだ仮名の知識をもとに漢字と仮名をバランス良く交えて書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典を生かし様々な表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現を比べて文の内容に相応しい表現を探している。</p> | <p>漢字と仮名の混じった詩文を選択する、もしくは作る。文字の展開、行の構成を考え、工夫して草稿を作る。</p> | ○ | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平仮名、変体仮名を読み、理解出来る。 ・仮名を適切な大きさや外形を理解し草稿を作ることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだ漢字の古典を活かしている。 ・漢字と調和のとれた仮名を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幾つかの表現を比較してより効果的な表現を模索している。 ・鑑賞のための言葉の語彙を増やそうとしている。 | 2 |
| | <p>単元…漢字仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】 用具用材の知識や線質の変化によって、漢字と仮名をバランス良く書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・継ぎ紙の技法をもって料紙を作る。 ・色紙の形式に則って散らし書きをする。 ・古筆の技法を活かして創作をする。 | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と調和のとれた仮名を工夫して、書くことができる。 ・用具用材、線質、構成まで工夫している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだ漢字の古典を活かしている。 | |

| | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|--|---|
| <p>用具用材や線質に適した紙面構成を工夫し、表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現を比べて文の内容に相応しい表現を探そうとしている。</p> | | ○ | | ○ | <p>る。 ・漢字と調和のとれた仮名を工夫している。 ・用具用材にも注意を払って幅広い表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幾つかの表現を比較してより効果的な表現を模索している。 ・鑑賞のための言葉の語彙を増やそうとしている。</p> | | 2 |
|---|--|---|--|---|---|--|---|

| |
|----|
| 合計 |
| 70 |

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科： 外国語 科目： 論理・表現 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： MY WAY English Logic and Expression I (三省堂出版)

教科 外国語 の目標

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。 | 知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。 | 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---|----|---|------------------|------------------|---|------|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 （ や ） | 話 （ 発 ） | 書 | | | | | |
| Lesson 1～2 日常のことや身の回りのことを英語で表現できる。 【知識及び技能】 日常的な日本語の言い回しについての英語での表現を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な話題に関して、実際の状況を自らが考え、判断して正しい英文で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身のことについて、基本的な語句を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。 | ・指導事項 英文の基本構造 be動詞、一般動詞現在形とbe動詞、一般動詞過去形を使った表現、進行形表現 ・教材 日常のことや身の回りのことについての確に表現する。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 7 |
| パフォーマンステスト | | | | | | | | ○ | ○ | | 3 |
| Lesson 3 週末の予定について英語で表現することができる。 【知識及び技能】 未来表現、イベントを説明する表現を適切に使えている。 【思考力、判断力、表現力等】 未来表現を使った英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 未来表現を使った表現を習得し、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。 | ・指導事項 未来形 (will, be going to～) を使った表現 ・教材 自分や相手の予定などについてコミュニケーションを図ることができる。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 期末考査 | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 1学期の復習 | ・1学期の復習を行う。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 2 |
| Lesson 4～5 海外のレストランで英語を用いて注文することや、道案内を英語で表現することができる。 【知識及び技能】 現在完了形、料理のメニューを表す表現を適切に使えている。現在完了進行形、各国の食べ物や表現を適切に使えている。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形、現在完了進行形を使った英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在完了形、現在完了進行形を使った表現を習得し、伝え合おうとしている。 | ・指導事項 現在完了形と現在完了進行形を使った表現 ・教材 レストランで注文する場面、道案内などをする場面でコミュニケーションを図ることができる。 料理や道案内に関する内容について的確に表現する。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | 7 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 二期 | Lesson 6～7 買い物で使える英語表現やスポーツ競技に関する場面などについて英語で表現できる。 【知識及び技能】 買い物する場面やスポーツ競技について、目的や意図を述べながら的確に表現できる。相手の話を受けて、確認したり、提案したりしながら意思疎通を図ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題に対して、自分の意見や状況などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 買い物やスポーツ競技に関する語句や表現を習得しようとしている。 | ・指導事項 不定詞（名詞的用法、副詞的用法）を使った表現 動名詞を使った表現 分詞構文を使った表現 ・教材 目的や意図を述べる状況においてコミュニケーションを図る。会話使用場面において、不定詞や動名詞を使い分けができる。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 10 | |
| | 期末考査 | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| | 2学期の復習 | ・2学期の復習を行う。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 2 |
| 3学期 | Lesson 8～9 紙の本と電子書籍の良さに関して賛成意見や反対意見を英語で表現することができる。健康に関するトピックについて英語で表現することができる。 【知識及び技能】 賛成意見や反対意見を言うための表現を使うことができる。関係代名詞を用いて体調を表す表現を適切に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な場面において自分の考えが理解されるように比較級、最上級、同等比較、関係代名詞を使いつながりながら対話を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 賛成意見や反対意見の表現、健康に関する表現を習得しようとしている。 | ・指導事項 比較級、最上級、同等比較を使った表現 関係代名詞を使った表現 ・教材 トピックに関する反対賛成意見を述べる。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 | |
| | Lesson 10～11 社会問題とSDGsについて、英語で表現することができる。 【知識及び技能】 環境問題や社会問題の話題を通して、意見を述べたり、賛成や反対の意見を述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題に対して、自分の意見や理由を正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題や社会問題に関する語句や表現を習得しようとしている。 | ・指導事項 関係副詞を使った表現 主張や提案を述べる表現 仮定法を使った表現 意見尋ねる、意見を述べる表現 ・教材 環境問題や社会問題について意見を述べる。 ・一人1台端末を状況に応じて活用する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 | |
| | 学年末考査 | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| | 3学期の復習 | ・3学期の復習を行う。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | 合計 | 63 |

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（1学年用）教科情報 科目情報 I

教科：情報 科目：情報 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（情 I 007-904 図説情報 I 新訂版）

教科 情報 の目標

- 【知識及び技能】情報に関する科学的な見方・考え方を身に着け情報技術の活用方法を習得する
- 【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】情報社会に主体的に参画する態度を養う

科目 情報 I の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任などについて、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。 | 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 | 情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|---|--|---|---|---|----------|
| <p>情報社会と私たち</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報や知識、IoT、人工知能(AI)について理解させる。 情報の特徴について学ぶ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報化による利便性(情報化の「光」)と危険性(情報化の「影」)について理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 匿名の特徴、ネットワーク上のルールとマナーについて考えさせる。 情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について考えさせる。 | <p>・指導事項</p> <p>PCの使い方 情報社会 情報モラル</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・教具 一人一台タブレット(Surface) CALL教室PC端末</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができる。 IoT、人工知能(AI)の意味とその活用について理解している。 情報の特徴について、意味を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報化の光と影について理解したうえで、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断することができる。 匿名の意味を理解し、匿名による特徴について考え、適切な判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の発信・受信において、発信者や受信者として注意すべき点について考え、自ら責任をもって行動している。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| <p>情報社会と問題解決</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の意味と、問題解決の流れについて理解させる。 情報収集のための手法について理解させる。 知的財産権の概念について理解させる。 個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報を効果的に分析し、まとめる方法を理解し、表現できるようにする。 安全性の高いパスワードとその管理について理解し、セキュリティの高いパスワードを作成させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報週収集のための手法について考えさせる。 財産権の概要、産業財産権の構成などについて学ぶ。 作成したパスワードが解析されやすい場合、よりセキュリティの高いパスワードを設定するという意識を高める。 | <p>・指導事項</p> <p>問題解決の手順 情報収集の手法 グラフを使った表現と分析 知的財産権と産業財産権 認証とパスワード コンピュータウイルスと対策</p> <p>・教材 教科書、Youtube</p> <p>・教具 一人一台タブレット(Surface) CALL教室PC端末</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。 知的財産権の概要について理解し、経済や文化の発展との関係を理解している。 個人が行うセキュリティ対策である認証の考え方や管理について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察することができる。 各認証方法の特徴について説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲をもって、情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。 問題解決のための取り組み(検索エンジン利用)に、積極的に参画している。 知的財産権の問題に関し、自らWebサイトで調べるなど、主体的・意欲的に取り組んでいる。 「特定されづらいパスワード設定」の実習において、情報のセキュリティを高めようと、粘り強く取り組んでいる。 マルウェアなどの被害に遭わないような対策を行い、セキュリティを高めようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| <p>コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> メディアの機能と特性について学ぶ。 メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について学ぶ。 インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について学ぶ。 インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリットについて学ぶ。 デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。 プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。 | <p>・指導事項</p> <p>メディアの機能と特性 メディアリテラシー インターネット上のコミュニケーション 情報デザインと表現の工夫 コンテンツ設計 スライドの制作と発表</p> <p>・教材 教科書、Youtube</p> <p>・教具 一人一台タブレット(Surface) CALL教室PC端末</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな意味をもつメディアの機能と特徴について理解している。 メディアリテラシーの考え方や情報の信憑性について理解している。 インターネットを利用したさまざまなコミュニケーションの特徴について理解している。 ユニバーサルデザイン、アクセシビリティの意味や目的について理解している。 情報をわかりやすく伝達するために、基本的な表現方法を理解している。 スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解している。 論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している。 文書作成ソフトウェアを用いて、わかりやすい資料作成の技能を身に付けている。 | | | | |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|----|
| <p>・コンパニンの論理展開の方法について学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰に何を伝えたいかによって、適切なメディアを選択することができる。 ・情報の信憑性を確認することができる。 ・積質な情報発信ができる。 ・コミュニケーションの仕方に応じた対応の方法を選択できる。 ・インターネットを利用したコミュニケーションの利点や気を付けるべき点について判断することができる。 ・ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いを理解し、違いを説明できる。 ・他者に情報をよりわかりやすく伝えるために、情報を加工することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上でコミュニケーションを取る場合の注意点を理解し、それを実践できる。 ・他の生徒の作品（図表、グラフ、ピクトグラム等）を観察し、自己の作品をより良いものとする | | <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な表現メディアや伝達メディアを選択し、伝えたい情報を効果的に表現することができる。 ・収集した情報を、別のメディアと比較するなどし、正しい情報かどうかを判断することができる。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明することができる。 ・情報伝達の目的や対象を考え、文章を視覚化したり、レイアウトを工夫したりして表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を発信する際、信憑性の高い情報となるよう、情報発信を意識して行っている。 ・インターネット上のコミュニケーションに対して、コミュニケーション手段の特性を考え、トラブルが起こらないような態度で取り組んでいる。 ・情報をわかりやすく伝達するために、文字、図表、グラフなどの表現方法について学習活動を行い、自ら改善しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 定期考査返却および解説 | | | | | ○ | 1 |
| 実技テスト | | | | | ○ | 1 |
| <p>情報とコンピュータ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタル、デジタルデータの特徴について学ぶ。 ・コンピュータ内部での数値の表現について学ぶ。 ・コンピュータにおける文字コード、音のデジタル化、画像のデジタル化、動画の仕組みや動画圧縮の仕組みについて学ぶ。 ・身のまわりの情報機器や組み込み機器の事例について学ぶ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの違いを説明できる。 ・2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現できる。 ・状況に応じて、文字化けが起こることを理解し、そこに文字コードが関係していることを説明できる。 ・画像の解像度や諧調を用いて、画像の鮮明さについて説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化に、興味・関心をもち、より深く考えていく。 | <p>・指導事項 デジタル表現の特徴 コンピュータでのデジタル表現 情報機器とコンピュータ</p> <p>・教材 教科書、Youtube</p> <p>・教具 一人一台タブレット(Surface) CALL教室PC端末</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解している。 ・2進数の簡単な加算と減算について理解している。 ・文字コードの特徴、音や画像のデジタル化の仕組みについて理解している。 ・カラー画像の表現、光の三原色、色の三原色について理解している。 ・動画の表現方法とデータの圧縮方法について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログデータとデジタルデータの比較し、その違いについて説明することができる。 ・文字化けが発生する理由について、事例をあげて説明することができる。 ・画像の解像度や諧調を用いて、画像の鮮明さについて説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化について、興味・関心をもって、より深く理解しようとしている。 ・文字、音、画像、動画のデジタル表現について、興味・関心をもって取り組んでいる。 ・生活で利用されている情報機器の種類や特徴などの学習活動について、興味・関心をもって取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>アルゴリズムとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの基本やフローチャートについて学ぶ。 ・アルゴリズムの基本構造、プログラムの構造について学ぶ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のためにアルゴリズムを活用する際の手順について説明できる。 ・アルゴリズムやプログラムをわかりやすくするための注意点について考える。 ・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングを行う上で重要なアルゴリズムに興味・関心をもって取り組む。 ・作成したフローチャートが正しいかどうか、わかりやすくするなど改善の余地がないかなど考え、繰り返し取り組む。 | <p>・指導事項 アルゴリズムと基本構造 プログラムの基礎</p> <p>・教材 教科書、Youtube</p> <p>・教具 一人一台タブレット(Surface) CALL教室PC端末</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 ・アルゴリズムの基本構造（順次構造、選択構造、繰り返し構造）を理解している。 ・プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のためにアルゴリズムを活用する際の手順について説明することができる。 ・アルゴリズムやプログラムをわかりやすくするための注意点について考えることができる。 ・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングを行う上で重要なアルゴリズムに興味・関心をもって取り組んでいる。 ・作成したフローチャートが正しいかどうか、わかりやすくするなど改善の余地がないかなど考え、繰り返し取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 定期考査返却および解説 | | | | | ○ | 1 |
| 実技テスト | | | | | ○ | 1 |

| | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|----|
| <p>モデル化とデータの活用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル化の手順や分類について学ぶ。 シミュレーションの手順や注視点について学ぶ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデルの分類に関し、身のまわりの具体的な事例で説明できる。 シミュレーションの手順について、具体的な事例で説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル化について興味・関心をもち、身のまわりのモデルについて分類するなど、意欲的に取り組む。 具体的な事象のモデル化やシミュレーションに対して興味・関心をもち、意欲的に取り組む。 | <p>・指導事項 モデル化 シミュレーション</p> <p>・教材 教科書, Youtube</p> <p>・教具 一人一台タブレット(Surface) CALL教室PC端末</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している。 シミュレーションの手順や注視点、シミュレーションツールについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデルの分類（表現形式による分類、対象による分類）に関し、身のまわりの具体的な事例で説明することができる。 シミュレーションの手順について、具体的な事例で説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル化について興味・関心をもち、身のまわりのモデルについて分類するなど、意欲的に取り組んでいる。 具体的な事象のモデル化やシミュレーションに対して興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| <p>ネットワークと情報システム</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークとその構成について学ぶ。 通信規約の役割について学ぶ。 IPアドレスや、ドメイン名、URL、DHCPサーバ、DNS、HTMLについて学ぶ。 WWWのサービスと仕組みについて学ぶ。 電子メールについて学ぶ。 暗号化を活用した技術について学ぶ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続するための機器の概要について学ぶ。 電子メールの送受信の仕組みについて、概要を説明できる。 URLのドメイン名の箇所に記載すべき内容について、説明できる。 暗号化の技術とデジタル署名について学ぶ。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べるなどし、ネットワークの改善に意欲的に取り組む。 ネットワークにおけるデータの誤りを検出する技術に興味・関心をもち、より深く理解する。 デジタル署名や認証局について学ぶ。 | <p>・指導事項 ネットワークの仕組み 情報システムとサービス 情報セキュリティ</p> <p>・教材 教科書, Youtube</p> <p>・教具 一人一台タブレット(Surface) CALL教室PC端末</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続するための機器やLANの構成について理解している。 インターネット通信の規約であるTCP/IPやパケットの流れについて理解している。 IPアドレス、ドメイン名、URL、DHCPサーバ、HTMLなどの意味や働きについて理解している。 電子メールのサービス内容と基本的な仕組みを理解している。 WWWのサービス内容と基本的な仕組みを理解している。 暗号化を活用した技術（暗号方式、デジタル署名など）について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭内のLANの配線例をあげて、インターネットに接続されている機器の概要を説明することができる。 電子メールの送受信の仕組みについて、概要を説明することができる。 URLのドメイン名の箇所に記載すべき内容について、説明することができる。 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式について、その特徴や違いについて説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べるなどし、ネットワークの改善に意欲的に取り組んでいる。 ネットワークにおけるデータの誤りを検出する技術に興味・関心をもち、より深く理解しようとしている。 暗号化の方式がデジタル署名に応用されていることを認識し、デジタル署名や電子認証について、より深く理解しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 定期考査返却および解説 | | | | | ○ | 1 |
| 実技テスト | | | | | ○ | 1 |
| 合計 | | | | | | 53 |

